

「幼児期に育てたい力」の具体例 初生幼稚園 バージョン（2学期）

1 健康な心と体



進んで外に出て、十分に体を動かして遊びます。徐々にルールのある遊びや勝敗のある遊びを楽しむようになっていきます。



パカボコ、ボール、縄跳びなどのいろいろな運動用具に触れたり集団遊びを経験したりすることで、跳ぶ、投げる、体のバランスをとる、体を移動させるなどの、多様な体の動きを体験します。



袖をまくって手を洗ったり、ガラガラうがいとブクブクうがいの使い分けをしたりして、健康のために必要なことを身に付けていきます。

着脱



気温に合わせて衣服の調節ができるようになります。上着は大人の手も借りながら徐々に一人で着られるようになります。



使ったものを自分たちで整えたり、片付けたりする経験を通して、生活の見通しをもったり、ものを大切にしようとする気持ちが育まれていきます。

清潔



食事



異年齢で一緒に食事をしたり、先生や友達と会話を楽しみながら食べたりすることで意欲的に食べることにつながっていきます。

2 自立心



できることが増えると、自分が少し難しいと感じることにも挑戦しようとする気持ちが育ちます。



4 道徳性・規範意識の芽生え



友達と関わりながら様々な感情を体験し、喜びや悲しみを共感し合うようになります。

一つの遊びを友達と楽しんだり、イメージを共有しながら協力してつくったりするなどして互いに思いを通わせるうれしさを感じるようになります。

3 協同性



5 社会生活との関わり



小中学生や高齢者、地域の人、異年齢児など、様々な人との触れ合いを通して、人との関わり方に気付き、相手の気持ちを考えたり、親しみをもったりするようになります。



幼児期に育てたい力

III 身近なものや出来事と関わる力

7 思考力の芽生え

身近な物を使って、考えたり試したりしてじっくりと遊びます。十分な遊びの時間の保障をしています。



自分の思いで試したり確かめたりしていくことでさらに知的好奇心が育まれていきます。



8 自然との関わり・生命尊重



友達の様々な考えに触れる中で、新しいことに気付いたり自分とは違う考え方を受け入れたりするようになります。また、友達と一緒に試行錯誤する楽しさを味わうようになります。



9 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

ひらがなスタンプ使って



遊びの中で数を数えたり比べたりすることを通して、数の感覚をもつようになります。また、文字への興味が高まり、掲示物を見たり、自分の思いを他の人に伝えたいという気持ちから遊びや生活の中に文字を取り入れようとしたります。



生活や遊びの中で興味のあることや経験したことなどを自分なりに表現したり、歌や音に合わせてリズムをとったりします。また、お話の世界を自分たちの遊びに取り入れ、友達とのやりとりを楽しむ中で、さらに表現への意欲をもつようになります。

10 豊かな感性と表現